

## 平成 27 年度第 1 回 草津市上下水道事業運営委員会

日 時 : 平成 27 年 6 月 17 日 (水) 10 : 00 ~ 12 : 00  
場 所 : 草津市役所 2 階 特大会議室  
委員出席者 : 山田委員長、平井副委員長、小寺委員、佐野委員、田中文子委員  
田中佳子委員、西谷委員、馬場委員  
欠席委員 : 小竹委員  
事務局 : 西岡部長、西村理事、川崎副部長、木内副部長  
田中課長、島田課長、横山課長、杉本場長、松永 G 長  
松永 G 長、勇田主任、澤主任  
委託事業者 : 日水コン(株) 4 名

(議事要旨)

### 1. 開会

1 名公務により欠席しているが、過半数の出席を得たため、事務局により開会を宣言した。

### 2. 上下水道部長挨拶

西岡上下水道部長より挨拶

皆様、本日は御多忙の中、委員会に御出席賜り誠にありがとうございます。

水道ビジョン中間見直しの第 2 回目でございます。本日は水需要の予測、目標達成状況の確認等について御説明申しあげます。委員の皆様には忌憚のない御意見をいただきまして、活発な御議論をいただきますよう、お願いいたします。

甚だ簡単ですが、わたくしの挨拶とさせていただきます。

### 3. 人事異動に伴う交代委員の紹介

事務局より、4 月の人事異動に伴い委員交代があったことを報告した。なお、小竹委員は本日公務のため欠席である。

委員交代

- 草津商工会議所 馬場委員
- 琵琶湖環境部下水道課 小竹委員

### 4. 事務局の紹介

4 月の人事異動に伴い、事務局のメンバーに交代があったことを報告し、事務局より自己紹介を行った。

## 5. 議題

議事に入り進行を事務局から山田委員長へ交代した。

### (1) 草津市水道ビジョンの見直しについて

事務局より草津市水道ビジョンの見直しについてスライドを用いて説明した。各委員の質疑は特になかった。

### (2) 草津市水道ビジョンの見直しについて

事務局より水需要予測についてスライドを用いて説明した。各委員の質疑応答は以下の通りである。

#### ■質疑応答

【委員】スライド 8 の人口予測で市の総合計画よりも水道の予測人口が少ないのはなぜか。

【事務局】市の総合計画は国勢調査による居住人口がベースとなっているが水道の人口は住基人口がベースとなっており住民票を移していない人の分だけ差が出ている。

【委員】逆ロジスティック曲線とはどのようなものなのか、正ロジスティックといったものがあるのか。

【事務局】将来予測の曲線の一つに逆ロジスティック曲線がある。

【委員】スライド 6 の水安全計画にある危害計画、危害管理は草津市の場合大丈夫なのか。

【事務局】現在、浄水場や配水などそれぞれの単位では策定済みである。今後はこれらを統合した計画を策定する予定である。

【委員】想定される危害事象はどのようなものがあるのか。

【事務局】水源の水質事故やテロなどへの対応といったものが挙げられる。

【委員】スライド 9 で予測の下限值に近隣市の実績最小値を採用した理由について。

【事務局】下限値として採用した湖南省の実績を見ると近年下げ止まっていることもあり、現時点では妥当であると判断した。

【委員】近隣市と草津市の生活用と業務用原単位の構成割合は近いのか。

【事務局】草津市では生活用と業務用を分けて計量していないため近隣市との比較は難しい。過去に行った水使用実態調査などから生活用原単位を推計した結果から同様の傾向があると推測できる。

【委員】水量の減少は妥当なのか。

【事務局】人口の減少、節水機器の普及によってこのくらいの減少になると予測される。

【委員】15%の減少の内訳について人口分が6%、節水機器普及が9%くらいか？

【事務局】概ねその程度であると考えている。

【委員長】表現が少しわかりにくい部分がある。需要者側と供給者側のニュアンスが混ざっている。

時系列予測についてはゼロ以下になる推計も可能であるがそれは現実性がないため、ここでの予測は280L/人・日に収束する予測としている。

業務用と工場用は地下水への転換や工場の撤退といった要因で大きく変化する。

【委員長】10%の料金還元による効果は算出しているのか。

【事務局】水量の増加といった目に見える効果はないと考えている。

### (3) 将来像・目標・主要な施策

事務局より将来像・目標・主要な施策についてスライドを用いて説明した。各委員の質疑応答は以下の通りである。

#### ■質疑応答

【委員】将来像の設定が見えにくい。現行の将来像は維持するのか、水量減少の影響はないのか。

【事務局】将来像は理念として設定している。また、使用水量の減少によって生活の中に占める水の価値が変わることはないと考えている。

【委員】汚泥の有効利用は草津市ではどうしているのか

【事務局】以前は園芸用肥料としているが、原材料に浄水汚泥を明記したところ販売量が減少し採算性が悪化したためやめた。現在では加工してセメント添加剤としている。

### (4) 目標達成状況の確認

事務局より将来像・目標・主要な施策についてスライドを用いて説明した。各委員の質疑応答は以下の通りである。

#### ■質疑応答

【委員】管路耐震率目標の達成が難しいのはなぜなのか。

【事務局】当初の管路更新計画では古い管、脆弱な管を優先的に更新する計画とした。その後更新計画を見直し、基幹管路等の口径が大きく重要性の高い管路を優先して更新する計画としたため。口径の大きな管は更新時のメートル当たりの単価が高くなる。

【委員】再生可能エネルギー、国際交流の目標値を除外するのであれば施策からも除外してもいいのでは？

【事務局】次回以降に施策を検討する際には考慮する。

【委員長】外国人居留者への対応など施策的に定量的に示せないものについても何らかの評価が必要である。

【事務局】次回の資料にはそのあたりを考慮する。

(5) 主要な事業

事務局より主要な事業についてスライドを用いて説明した。各委員の質疑は特になかった。

(6) 次期水道ビジョン策定に向けた課題

事務局より次期水道ビジョン策定に向けた課題についてスライドを用いて説明した。各委員の質疑応答は以下の通りである。

■質疑応答

【委員】アセットマネジメントを以前にも実施されているように説明されたが、平成 28 年度以降のアセットマネジメントでは、何を指して、何に取り組むのか。

【事務局】ビジョン策定時にマクロマネジメントを行っている。今後はミクロマネジメントを H28 以降に実施する。

【委員】アセットマネジメントについては詳しい説明を追加したほうがいいのではないのか。

【事務局】配布資料に説明を追加する。

【委員】ロクハ浄水場の耐震化の進捗はどうなっているのか。

【事務局】ロクハ池は十分な耐震性を有しており地震によって堰堤が切れることはない。浄水場のコンクリート躯体で耐震性が不足するものについては、増し打ちや、せん断補強筋の追加、防水塗装を行っている。

【委員長】次期ビジョンで検討するにはタイミングが悪いものもある。今回ビジョンの見直しを行うのである程度議論だけは先行してやっておいてもいいのではないのか。防災や広域化については県との連携を交えた方が良いのではないのか。

【事務局】検討する。

(7) 議事全体を通じて

【委員】下水ますに木の根が入り込むことがある。

【事務局】施工時の確認、業者への指導を徹底する。

6. 次回以降の日程について

今回は 7 月末、次々回は 8 月末を予定している。委員の予定を確認の上、後日調整する。

7. 開会

事務局より閉会を宣言した。